

広報 こえのするまち

1

January

2026

No.835

おいしだ

大石田町



—主な掲載記事—

年頭のごあいさつ／P 2～3

(特集)文武両道／P 4～7

僕の夢私の目標／P 8～9

町民税申告相談のお知らせ／P 10～11

表紙写真／書き初め(1月9日(金)・大石田北小学校)

年頭のごあいさつ



明けましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、人口減少や少子高齢化、物価の上昇など、地域社会に大きな影響を及ぼす課題がより顕在化した一年でありました。

一方で、デジタル技術の進展や働き方の多様化など新たな可能性も見え始め、社会全体が変化の中にあることを強く実感した年でもありました。

当町におきましては、新町発足70周年の節目の年として、皆さまと共に町の歩みを振り返り、未来への希望を共有できたことを大変うれしく思います。また、気候変動による異常気象や自然災害も多発し、防災対策の重要性が再確認されました。夏には記録的な猛暑となるなど、日本各地で異常気象が顕著になり、自然災害への意識も高まりました。

併せて、米を巡る混乱やクマ被害の拡大など、新たな社会の課題も浮き彫りになっています。

令和7年は、過去を学び、現在を見つめ、未来を考える上で、非常に示唆に富む一年だったと言えるのではないのでしょうか。

こうした時代の流れの中で、当町におきましても、住民一人ひとりの暮らしを守り、将来にわたって安心して暮らせるまちづくりを進めるため、様々な施策に取り組んでまいりました。福祉や子育て支援、地域産業の振興、防災・減災対策など、町民の皆さまの声を大切にしながら、丁寧にして着実に事業を進めてまいります。

また、年末にかけて嬉しいニュースが立て続けに舞い込みました。11月には、ふるさと納税未来創造アワードにおいて、ふるさと納税の使い道が優れた取り組みであると評価され「安心と備えのまちづくり賞」を受賞し、第66回県民謡王座決定戦では、芳賀清さんが見事優勝され、民謡王座に輝きました。12月には、第25回ふるさとCM大賞において、当町の作品がグランプリを受賞することができました。

さらに、大石田中学校の卒業生でもある山形東高校2年の東海林あやさんが、第40回全国高校文芸コンクールの俳句部門で、最優秀賞に輝き、京都市で開催された全国高校駅伝では、学法石川高校3年の保芦摩比呂さんが6区を区間2位という好タイムで力走し、同校初の全国優勝、かつ大会新記録に大きく貢献されました。今後も多く町の民、子どもたちが、この結果に続いていけるよう様々な支援を行ってまいります。

「大人が自信を持って次世代にタスキをつなげられる町」にしていくことが私の使命だと考えております。そのためには、「住み続けたい」、「住んでみたい」と思っていただけよう、町民の皆さまと一緒にまちづくりを進めてまいる所存でありますので、引き続き皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって素晴らしい年になりますようお祈り申し上げ、年頭の挨拶いたします。

大石田町長 庄司 中

『国トイフ モノニ染マラヌ 百合ノ花』

全国高等学校文芸コンクール俳句部門最優秀賞受賞

本町出身で山形東高等学校2年生の東海林あやさんが、第40回国高等学校文芸コンクール俳句部門において、見事、最優秀賞を受賞されました。12月26日(金)には庄司町長へ表敬訪問を行いました。東海林さんに受賞されたお話を伺いました。

俳句との出会い

東海林さんが本格的に俳句を始めたきっかけは、高校入学後、文芸部の先輩たちが「俳句甲子園」に挑む動画を見て感動したことでした。もともと小・中学校の授業で俳句を作る機会があり、以前から身近なものであるという感覚は持っていたそうです。

高校では、文芸部の部長を務める

東海林さんは、文芸部の部長を務めています。普段は、句会などを通じて、日々、表現力や感受性を磨いています。

「芯のようなものを持つことができた」

今回受賞した句は、自宅に咲く凛と咲き誇る真っ白なユリを自身に重ね詠んだ句で、「時代によって国の形は変わるけれど、芯のようなものを見失わないように持つことができた」という想いが込められています。そこがまた、国の形が大きく変わった時代の象徴として、大日本帝国憲法の表記を参考に、あえて漢字とカタカナを組み合わせた表現に仕上げました。

受賞の驚き

東海林さんは、今回の全国コンクールでの受賞についてまさか自分が選ばれるとは思っていません。たよりで、とても驚いたそうです。また、表彰式では、「同じように俳句へ情熱を注ぐ同世代の方々と交流でき、非常に良い機会をいただいた。」と話します。

受賞の喜びと葛藤

一方で、大きな実績を残したことで「自分の詠んだ句がすべて『正解』だと思われてしまうのではないか」という不安や、句会での自分の発言が周囲に与える影響の大きさなど、受賞者としての責任の重さも真摯に受け止めています。



第40回 全国高等学校文芸コンクール表彰式

主催：(公社)全国高等学校文化連盟 読売新聞社 後援：文化庁他 協賛：(公財)一ツ橋文芸教育振興会

豊かな自然が育む感性

俳句の魅力について、東海林さんは「四季の変化に敏感になり、日頃の言葉遣いも意識するようになった」と話します。

特に、小学校の頃から肌で四季の環境を感じることでできる環境にいたることができたのはとても大きかったそうです。「大石田町は、四季がはっきりしています。この自然が豊かな環境を身近に感じてもらって、その中で一人でも句を詠む機会を得られる人が増えるといいと思います。」と話してくださいました。

今後も東海林さんの素晴らしい感性が、これからどう広がっていくのか目が離せません。この度は、受賞大変おめでとうございます。



(写真：山形東高等学校)

全国高等学校文芸コンクール表彰

高等学校文化連盟 読売新聞社 後援：文化庁他 協賛：(公財)一ツ橋文芸教育振



東海林あや (山形東高等学校2年)

全国の舞台で、快走



(写真：毎日新聞社)

保芦 摩比呂 (学校法人石川高等学校3年)

12月21日(日)から行われた全国高校駅伝大会で学校法人石川高等学校(福島)が見事日本一に輝きました。その、学法石川の選手として、町内出身の保芦摩比呂選手が6区での快走を見せ、日本一に貢献しました。

小・中学校時代からすでに注目選手に

保芦選手は、小さいころから走ることが好きな選手で、県内のみならず、県外のレースにも自ら出るほどだったそうです。

その実力は確かなもので、令和元年に開催された東日本都道府県小学校陸上競技交流大会の1500mで3位入賞。さらに令和4年の全日本中学校陸上競技選手権大会の1500mでは、4分3秒39で4位に入賞するなど輝かしい成績を納めています。

さらなる高みを目指し、県外の強豪校へ

高校進学では、県内に残ることも考えたそうですが、全国トップレベルの力を持つ選手たちと切磋琢磨する道を選び、親元を離れて寮生活をしながら、陸上生活に打ち込んでいくそうです。

ケガと向き合った苦難の時期

輝かしい活躍の裏で、高校生活はケガに悩まされた時期もありました。1年生の頃は、走行距離の増加や環境の変化から体調を崩すこともあり、2年生の頃も度重なるケガに苦しんだといいます。

そして迎えた高校最後の年。右足首の疲労骨折により、夏の全国高校総体への出場が叶いませんでした。そんな悔しさを胸に抱いて臨んだのが、今大会でした。

チームの仲間とともに全国の舞台へ

ケガの影響は、復帰にあまり影響がなかったと話しますが、様々な想いを抱え、レースに臨んだそうです。レースでは、松田監督が「追いつかれても6区で勝負できるように」と送り出された保芦選手は区間2位の快走を見せるなど、素晴らしい走りを見せてくれました。

今大会に向けて、特に重視したのは、「ピークの調整」だそうです。かつて合宿で頑張りが過ぎてしまい、本番で思うような力を発揮できなかった経験がありました。今回は、気持ちを抑えながらも調子を上げていったそうです。

また、日ごろのジョギングなどのメニューが個人の裁量に委ねられていたことも、自分で工夫しながら調整する自身のスタイルに合っていたと語っています。

自身の性格とチームの絆

大会を終えて改めて自身の性格を振り返り、「負けず嫌いであること」や「自分のペースで走るレース展開が合っていること」を再確認したといえます。それと同時に、駅伝という競技を通じて「チームの仲間を信じて走ることの強さ」を改めて実感したそうです。

家族とチームに支えられた成長

ご両親は、保芦選手の小さい頃から、本人の意思を尊重し、県外のレース巡りを行い、スポーツ少年団に所属していた際には、指導者資格の取得を行うなど献身的にサポートしてくれていました。保芦選手は、「高



次の目標は「大学3大駅伝」

次の目標について尋ねると、大学に進学し、1年生から3大駅伝を走りたいと胸の内を話してくださいました。

一歩一歩、挑み続ける保芦選手の進化から今後も目が離せません。この度は、大変おめでとうございます。



かえで
神部 楓
さん
(大石田小学校)

★医者になりたい！

私の将来の夢は、医者になって、病気で困っている人を助けることです。理由は、私のかかりつけ医の先生にあります。

以前、私が風邪になってしまった時に病院に行くと、病院の先生が冷静に対応してくれました。その姿を見て、「私も、この先生みたいになりたいな。」と思い、医者になる夢を持ちました。

ですが、医者になるには数々の難しい試験を突破しないと聞きました。そのために、小学生の今から日々の学校の予習と復習をする習慣をつけて、苦手な科目も弱点を分析して克服し、夢である医者になりたいと思います。



ゆあ
今田 結愛
さん
(大石田小学校)

★デザイナーになりたい！

私の夢は、デザイナーです。私がデザイナーになりたいと思ったのは、5年生の時です。

私には、憧れの人があります。その人は、かっこよくて、優しく、努力家です。自分で服をデザインして、そのデザインした服や絵画でたくさんの賞を取っています。私も、その人のようにになりたいです。

だから、私は、ノートブックに服をデザインしたり、たくさんの絵を描いたりしています。デザインしている時や絵を描いている時はとても楽しいです。これからもたくさん努力して、憧れの人のような、素敵なデザイナーになれるように頑張りたいです。



僕の夢 私の目標



今年の4月に中学校へと進学する町内の小学6年生6人から、将来の夢や中学校での目標について聞いてみました。

それぞれの胸に抱く夢や希望をを実現するため、一步一步大切に歩んでいってください。



ここね
海藤 心音
さん
(大石田北小学校)

★バレーボール選手になりたい！

私は、バレーボール選手になるのが夢です。バレーボールを習い始めた時からの夢でした。私は、ずっとバレーボールが好きで試合などをよくテレビで見っていました。私は、小学5年生からバレーを習い始めました。自分が思っていたよりもすごく難しく、慣れるまで大変でした。相手のスパイクの打ってくる場所によってフォーメーションが変わったり、レシーブではボールの高さや飛んでくる向きによって腕の使い方を変えたりしないといけないからです。でも自分の将来の夢のために辛くても頑張ろうと思って取り組んでいます。自分の限界を自分で決めないで、今は辛くても全力で頑張りたいです。中学生になっても将来の夢に向けてバレーボールの練習を続けていきたいです。



かなた
佐藤 悠
さん
(大石田北小学校)

★勉強もスポーツも頑張りたい！

ぼくが中学校で頑張りたいことは二つあります。一つ目は、勉強です。ぼくは算数が得意で、今は応用問題にも取り組んでいます。中学校では、小学校の算数がレベルアップして数学になります。小学校の算数の力を数学に生かしていけるようにしたいです。また国語はあまり得意ではないので、本を読んだり、先生の話をよく聞いたりして力を伸ばしたいです。

二つ目は、陸上です。ぼくは100メートル走が得意です。中学校では、小学校より速く走れるようになりたいです。そのために、体育のスキー学習やJSCの習い事を頑張り、体力をつけたいです。そして県大会で1位をとり、全国大会を目指したいです。

勉強もスポーツも両方頑張り、中学校で充実した学校生活が送れるように頑張ります。



ゆづき
齋藤 結月
さん
(大石田南小学校)

★美容師になりたい！

私の将来の夢は、美容師になることです。それは、私が小さいころから美容師として働くお母さんを近くで見えてきたからです。お客さんの髪を切ったり結んだりしているお母さんの姿に、ずっとあこがれてきました。お母さんがお店でお客さんの髪を切るときは、お客さんがたいくつにならないように、会話を大事にしています。お母さんのお客さんは、みんな笑顔です。だから、中学校での目標を、コミュニケーション力を高めることに決めました。そこで、私は新しく出会う友達とたくさん話して、コミュニケーション力を高めていきます。さらに、苦手な英語や算数の勉強も欠かさずします。そして、将来への大きな一歩として、がんばります。



げんと
小内 源斗
さん
(大石田南小学校)

★水族館の飼育員になりたい！

ぼくの将来の夢は、水族館の飼育員になることです。それは、海の生き物が好きだからです。以前、家族全員で水族館に行ったときに、ペンギンを見て、とてもかわいかったです。もし水族館の飼育員になれば、特にペンギンの飼育をしたいです。そのために、中学校では、理科の勉強でいろいろな生き物の生態や習性をたくさん学びたいです。でも、中学校での学習で心配なこともあります。それは、算数に苦手意識をもっていることです。分数の計算が苦手で、よく間違えてしまいます。だから、中学校では、自学で復習をして、みんなにしっかりとついていけるようにしたいです。そして、将来の夢を必ずかなえたいです。



町民税申告相談のお知らせ



○申告会場の混雑緩和のため、以下の点にご協力ください

①少人数でのご来場

会場にお越しになる方は、世帯を代表して1名でのご来場にご協力ください。介助を要する等の理由があり複数名でお越しになる場合においても、必要最低限の人数でお越しください。

また、発熱等の症状がある方や体調のすぐれない方は、無理をせずに後日あらためてご来場くださるようお願いいたします。

②指定時間でのご来場

会場の混雑緩和のため、世帯ごとに日時を指定していますので、指定した時間でのご来場にご協力ください。指定日時でのご来場ができない場合は、ご連絡いただきますと、別日のご案内をさせていただきます。事前にご連絡がなく、指定時間以外でご来場された場合、指定時間の方を優先して申告相談をさせていただきますのでご了承ください。

○申告相談における留意事項

医療費控除やセルフメディケーション税制による医療費控除の特例を受けられる方は、医療費控除の明細書の添付が必須になります（領収書の提示のみでは控除を受けることができません）。事前に明細書を作成のうえ、申告相談へお越しください。

営業、農業、不動産所得がある方で、帳簿を作成していない方が見受けられます。帳簿の作成及び保存は白色、青色申告を問わず平成26年から義務付けされており、税務調査等の際に提出を求められる場合がありますので、必ず作成のうえ関係資料と合わせて5年間保存してください。

短時間での申告相談にご協力ください。申告資料の集計がなされていないなどの理由により、申告に時間を要する方に関しましては、資料をおまとめいただいてから、再度申告をお願いする場合がございます。予めご了承ください。

申告等に関してご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください

■町民税務課 税務グループ ☎35-2111(内線125・126)

★e-Tax（電子申告）・スマホ申告が便利です！

～自宅でできる！！24時間いつでもできる！！還付が早い！！～



国税庁e-Taxキャラクター「イータ君」

詳しくは、e-Taxホームページ
(<https://www.e-tax.nta.go.jp/>)を
ご確認ください。



▲e-Taxホームページ

○申告相談のご案内を送付します

申告が必要と思われる世帯へ、相談の日時等を記載した封筒を送付します。

なお、封筒が届かない場合や、指定の相談日に都合がつかない場合は、町民税務課税務グループまでご連絡をお願いします。

○申告相談の日程について

相談日	曜日	対象地区	相談日	曜日	対象地区
2月2日	月	下宿・黒滝・八幡町	2月25日	水	豊田
3日	火	川端・庚申町	26日	木	上宿・駒籠
4日	水	今宿・本町	27日	金	駒籠
5日	木	東町	3月2日	月	鷹巣1・栄町
6日	金	里・二丁目	3日	火	上ノ原
9日	月	新町・海谷	4日	水	川前・南通
10日	火	海谷	5日	木	来迎寺
12日	木	田沢下・愛宕町	6日	金	次年子・鷹巣2
13日	金	岩ヶ袋	9日	月	佐田町・曙町
16日	月	岩ヶ袋・小菅	10日	火	横町・新山寺
17日	火	四日町	11日	水	田沢上
18日	水	鷹巣3	12日	木	仲通・桂木町
19日	木	坂ノ上・白鷺	13日	金	大浦
20日	金	井出・緑町	16日	月	予備日(午前のみ) 相談時間～11時まで
24日	火	朝日町・豊田			

○相談時間／午前9時～午後4時まで

※世帯ごとに来庁時間を指定しております。送付した案内をご覧ください。

※最終日の3月16日(月)は、午前のみ申告相談を行います。(受付終了 午前11時まで)

○相談会場／役場3階「大会議室」

申告手続には…

「マイナンバーの記載」＋「本人確認書類」の提示が必要です。

マイナンバーカードや通知カードを**必ず**持参してください。

きらめく音楽と共に クリスマスコンサート

自 主企画事業「The Magic of Christmas
～クリスマス・ハーモニー～」が、12
月20日(土)に虹のプラザ「なないろホール」で
開催されました。

前日の19日(金)には、キッズコンサートも
行われ、2日間で、町内外から約350人が訪
れました。

当日は、県内外のアーティストによる歌・
ヴァイオリン・ピアノ・ドラムの生演奏とダ
ンスによる公演が披露されました。第1部で
はクリスマスにぴったりの音楽とダンスを、
第2部では絵本「くるみ割り人形」を題材にし
たオリジナルミュージカルが披露され、お子
さまから大人まで少し早めのクリスマスを楽し
んでいました。



地元の郷土料理を 学校給食にくじら餅

大 石田町創業の株式会社うろこや総本店より
町内の小中学校の学校給食に、くじら餅
450個を提供いただきました。

これは、くじら餅を食べたことがない子どもた
ちが意外と多くいることから、ぜひ、地元の郷土
料理に触れてもらいたいという想いから実施され
たものです。

北小の佐藤朱依さんは、「もちもちしていてと
てもおいしかった」と話していました。

大変ありがとうございます。



青少年健全育成町民集会 家族への感謝の気持ちを伝える

大 石田町青少年健全育成町民集会が12月13日
(土)に虹のプラザ「なないろホール」で開か
れました。これは地域の子どもの健やかな成
長を見守ろうと、町青少年育成町民会議が毎年開
いているものです。集会では、オープニングア
トラクションとして、大石田中学校の1年生がグル
ープ毎に考えた町の蕎麦を使った新商品の開発の発
表を行いました。その後、いじめ防止標語優秀作
品の表彰と、町内の小学生が家族への感謝の気持
ちをテーマに書いたエッセイの優秀作品の表彰が
行われ、その後児童による優秀作品が披露され、
会場からはあたたかい拍手が送られていました。



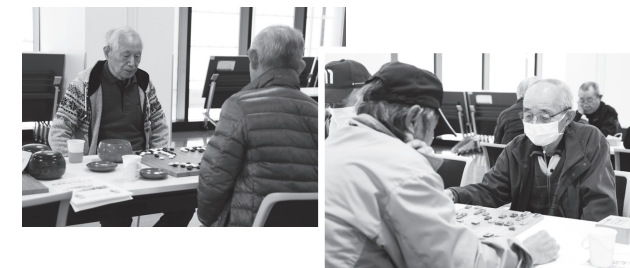
3人の選手に スポーツ激励金を交付

ス ポーツ大会出場激励金の交付式が、12月25日(木)
に役場「応接室」で行われました。

今回は、東北大会に出場された3人の選手に庄司町長
から激励金が交付されました。

大変おめでとうございます。

氏名(学校名)	種目	大会名
阿部 らら (山形市立商業高校3年)	陸上競技 (棒高跳び)	第80回東北高等学校陸上競技大会(兼)秩父宮賜杯第78回 全国高等学校陸上競技対抗選手権大会東北地区予選会
高橋 琉雅 (山形学院高校3年)	陸上競技 (三段跳び)	第80回東北高等学校陸上競技大会(兼)秩父宮賜杯第78回 全国高等学校陸上競技対抗選手権大会東北地区予選会
今野 瑛太 (山形中央高校3年)	陸上競技 (110mハードル)	第30回東北高等学校新人陸上競技選手権大会



白熱した戦い繰り広げる 新春高齢者囲碁将棋大会を開催

社 会福祉協議会と町老人クラブ連合会が主催
する新春高齢者囲碁将棋大会が、1月7日
(水)に虹のプラザ「中会議室」で開催され、町内の
高齢者13人が参加しました。静かな会場には、碁
石や駒を打つ音が響き、白熱した戦いが繰り広げ
られました。結果は下記のとおりです。

将棋の部 第1位 伊藤 久夫(朝日町)
第2位 海藤 典雄(駒籠)
第3位 吉田 茂(東町)

囲碁の部 第1位 有路 他人也(東町)
第2位 青木 孝次(庚申町)
第3位 伊藤 亨介(田沢上)
(敬称略)



町民の起業・創業を支援 SNS・AIセミナーを開催

町 民を対象とした起業・創業セミナーが、12
月3日(水)に虹のプラザ「中会議室」で行わ
れました。

このセミナーは、2部構成で、前半では、SNS
を活用した自社の強みを表現するための投稿のポ
イントや、複数のテーマの組合せによるファンの
発見などへのアプローチ方法などを事例を交えな
がら実際に考え、学びました。

後半では、AIを活用した物販や接客への応用、
人手不足の中でも効率的に可能なツールとしての
活用方法を学びました。参加者は、「SNSは使っ
ているが、強みやポイントを押さえて投稿するこ
とが重要だと感じました」と話していました。



【12大会ぶり2回目】 令和7年山形ふるさとCM大賞でグランプリを受賞しました



第 25回山形ふるさとCM大賞において、大石田町が12大会ぶり2回目のグランプリを受賞しました。今年のテーマは、大石田町にもかかる「やまがた百名山」の1つでもある大高根山の「登山」から、大石田の暮らしや活力を感じられるようなCMとなっており、さりげない息遣いや表情から、大石田の生活や温度感、空気感、香りが伝わるような作品となっています。

また、グランプリを受賞したことにより、年間300本の放送をしていただけることになりました。

YTSの公式HPや町の公式YouTubeでも視聴することが可能ですので、ぜひご覧ください。



YTS公式HP



町公式YouTube



中学校入学に向けて



令和7年9月11日(木)に実施した「サンサスタディ教科版(合同授業)」の感想を一部掲載いたします。多くの児童から3校一緒に学べて良かったという感想が多く寄せられました。

- 国語の対話の練習の時、南小でやった時よりも説得力を持たせることができなかったし、雑になってしまいました。でも、他の学校の人と協力できたし、前よりもさらに仲良くなれました。これからは大勢の前で緊張せずに話せるようにしたいです。(南小5年)
- 久しぶりに3校で授業できてとても楽しくできた。算数、国語でいつも聞けないような意見をたくさん聞いた。友達とたくさん話したり遊んだりできた。(大小5年)
- 今日のサンサスタディでは意見をいっぱい言えたり、前まで仲良かった人ともっと仲良くなったし、他の人とも仲良くなれた。(北小5年)
- 南小の人だけでなく他の学校の人とも話せてよかった。海の杜水族館と瑞巖寺のどちらを先に行くか、どれくらいの時間を使うか等、班全員の意見を取り入れることができた。修学旅行でもみんなの意見をまとめ、班の人と仲良くなれるよう頑張りたい。(南小6年)
- 中学校へ向けた授業を中学校の先生がしてくれました。トランプを使って学習するのは初めてで、最初は難しかったり、びっくりしたけど、みんなと楽しく学習できて良かったです。(大小6年)
- 数学ではトランプゲームで足し算、引き算を楽しく学習できた。3校で交流もできたので良かったです。(北小6年)



引き続き、児童同士の交流状況などを小学校統合に向けた情報を発信してまいります。

■教育文化課 学校教育グループ ☎35-2111(内線252)



交通事故にあわないように！ 園児が手作り年賀状作る

町 内2保育園の園児が、町内の73歳以上の一人暮らし高齢者に手作りの年賀状を送りました。これは、町交通安全推進協議会が、高齢者の交通安全と健康を呼びかけるため各保育園に協力いただき毎年実施しているものです。

このうち、大石田保育園では、12月12日(金)に園児たちが2026年の干支の「午」にちなんで、馬の絵などを描いた年賀状を作成しました。年賀状には、「交通事故にあわずに元気で明るく過ごせますように」という園児のメッセージが込められています。町民みんなが気を付けて大石田町から交通事故をなくしましょう。



除雪作業の安全を祈って まちづくり大石田除雪支援事業安全祈願祭

N PO法人まちづくり大石田が毎年実施している除雪作業の有償ボランティアの安全祈願祭が12月15日(月)に行われました。

この事業は、各家庭の敷地内の雪処理や間口除雪を有償で実施するもので、町民であれば誰でも利用することができます。

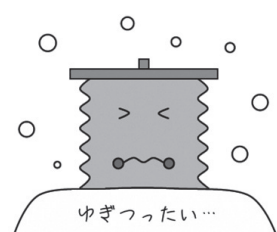
当日は、代表理事を務める齋藤忠男さんが「今年で10年となるが、依頼件数も年々増加している。皆様のご理解とご協力をいただきながら今後も実施していきたい」と話しました。



歳末たすけあい募金 町内福祉事業所4か所に手渡す

大 石田町社会福祉協議会が実施している「歳末たすけあい募金」が12月22日(月)にもも太郎さん大石田、ソーレ大石田、仁風荘、水明苑の町内福祉事業所4箇所に手渡されました。

この事業は、町内の各家庭からの戸別募金や団体募金によって行われており、新たな年を迎える時期に、支援を必要としている方が地域で安全に暮らすとができるよう行われているもので、町内福祉事業所のほかにも一人暮らし世帯や高齢者世帯などに支援を行っています。



まちとしよ

～大石田町立図書館 information～



Web OPAC
PC・スマホ版

- ◆ ☎35-3877 ◆ 公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library>
- ◆ 大石田町立図書館蔵書検索システム(WebOPAC)から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などができます。利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。

- 開館時間 午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時)
- 休館日 毎週木曜日(祝日の場合翌日)、特別整理期間等 《2月の休館日》5日休、12日休、19日休、26日休

図書館講座

「春から活かそう！ 野菜づくりのコツとワザ」

日時 令和8年2月28日(土)
14:00～15:30

場所 町民交流センター「虹のプラザ」
2階 中会議室

講師 (一社)農山漁村文化協会
東北支部 櫻井 歓太郎氏

お申込・お問い合わせ
大石田町立図書館
TEL: 0237-35-3877

参加無料
定員30名



注目品種の
ご紹介もあり

「現代農業」「うかたま」
でのお楽しみ！

参加費
無料

町子ども読書活動推進委員会講演会 本と教育の力

震災から15年の「読書の町」大熊町から学ぶ

震災以前からの「読書の町おおくま」の取り組みや、全国的にも注目される「学び舎ゆめの森」の概要などお話いただきます。

日時 2/17 火 14:00～15:00

場所 虹のプラザ 2階中会議室
(zoomによるリモート講演)

講師 福島県大熊町教育委員会生涯学習課
課長補佐兼社会教育係長 風間 真由美氏

申込 大石田町立図書館 TEL 35-3877

今月は、どの本を読む？

新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します！



『かずをはぐくむ』

(森田 真生//著、西 淑//絵 福音館書店)
やがて、子どもの心の中には数が“生まれ”、おとなと共に“育み”あうようになる。3歳と0歳のきょうだいが、8歳と5歳になるまでの驚きに満ちた日々を、やわらかに綴る。『母の友』連載を書籍化。



『乱歩と千畝RAMPOとSEMPO』

(青柳 碧人//著 新潮社)
巨匠・江戸川乱歩と、ユダヤ人を救った外交官・杉原千畝。まだ何者でもなかったふたりは希望と不安を抱え、浅草の狼狽な路地を歩き語り合い…。斬新な発想で描く波瀾万丈の物語。『yomyom』連載を単行本化。

『消えたモナ・リザ』

(ニコラス・デイ//作、千葉 茂樹//訳 小学館)
世界一有名な名画「モナ・リザ」は、1911年の盗難事件で注目されるまでは無名の作品にすぎなかった。パリ警視庁の捜査とルーブル美術館に戻るまでの経緯、作者レオナルド・ダ・ヴィンチの人生を描いたノンフィクション。



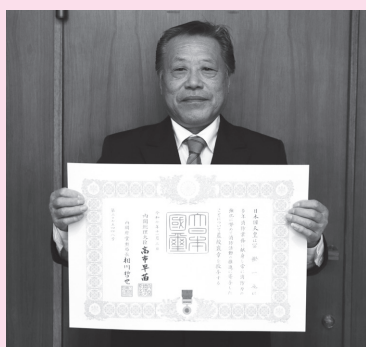
『なぎちゃんが なんでにんじんのこしたか』

(ネコリ・ハコリ//作 絵本館)
「なぎちゃん、またにんじんのこしてるやん」幼稚園からかえってきた、なぎちゃん。お母さんにそう言われて、どうしておべんとうのにんじんをのこしたのか、そのわけをはなしはじめ…。大阪弁が小気味良い楽しい絵本。



消防活動に尽力された 2名に叙勲・褒章が授与されました

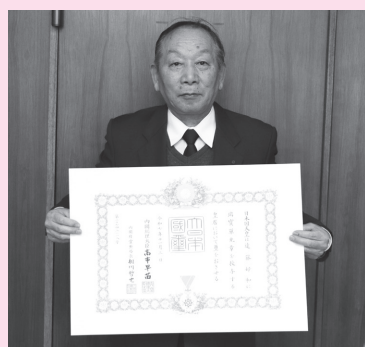
大変おめでとうございます。



「藍綬褒章」

富樫一也さん(佐田町)に

町消防団分団長の富樫一也さん(佐田町)に「藍綬褒章」が授与されました。富樫さんは令和3年から町消防団分団長として災害発生時の指揮や日頃の予防消防にあたられるなど町消防団の充実、強化に尽力されました。褒章はこれらの功績が認められたものです。大変おめでとうございます。



「瑞宝単光章」

遠藤好和さん(仲通)に

遠藤好和さん(仲通)に「瑞宝単光章」が授与されました。遠藤さんは昭和51年から46年の長きにわたり、町消防団員を務められ、その間、副団長などを歴任し、災害現場での団員の指揮と予防消防に尽力されて町消防団発展に多大な貢献をされました。叙勲はこれらの功績が認められたものです。大変おめでとうございます。

町長コラム

「次世代へ虹をかける」

『そばで、世界につながる』

vol.25



皆さん、明けましておめでとうございます。NHKの「クローズアップ現代」でも取り上げられました。難しく聞こえるかもしれませんが、私が決めた特別なものはなく、私たちが日々大切に生きてきた当たり前の暮らしそのものだと思います。その視点で見ると、大石田町の蕎麦には、この町の暮らしや人の思いが自然とじんじんでいっているように感じます。昔から客人を迎える際に時間と手間を惜しまず心を込めて蕎麦を打つ。その「おもてなし」が、人と人をつなぎ、この町の文化として受け継がれてきました。蕎麦を打ち、人を迎え、語らう。その日常の中に大石田町らしさがあります。大石田の蕎麦を食べる日本各地、そして世界中から足を運んでくださる方が増えていく。「大石田の蕎麦を食べにいらっしゃい」「大石田の蕎麦食ってよ!!」と世界のどこかで語られるような町になったら素敵ですね。

大石田町長 庄司 中

※書影は各出版社HPまたは規定する方法から、紹介文は「TRC MARC」より引用しています。すべて町立図書館蔵書。

商工会青年部が園児にお菓子をプレゼント



商工会青年部(鮎川部長)による保育園児へのお菓子のプレゼントが12月17日(水)に町内2か所の保育園で行われました。その内、ふたば保育園ではサンタクロース姿に扮した部員2人が園児にお菓子を手渡しました。お菓子を受け取った園児は「ありがとうございます」と大きな声でお礼を言うと、嬉しそうにプレゼントを抱えていました。

飲酒運転撲滅飲食店訪問 町や警察が協力呼びかける



冬の交通安全県民運動の一環として、12月10日(水)と11日(木)に飲酒運転の撲滅を呼びかける飲食店訪問が行われました。これは、尾花沢地区交通安全協会と安全運転管理者協議会が毎年実施しているもので、各飲食店に啓発用ポケットティッシュなどを配り、飲酒運転撲滅運動への協力を呼びかけました。

年末年始は飲酒の機会が特に多くなる時期です。「飲んだら乗らない」、「乗るなら飲まない」を家族や周りの方と確認し、飲酒運転を絶対にしないように徹底しましょう。



大石田町地域おこし協力隊コラム

移住生活2度目の冬となりました、地域おこし協力隊の椛島です。
雪の生活も慣れてきたように感じ、もっと雪かきしたいなぁと思うほどです。雪かき後のビールが美味しいのなんのって…。

昨年は手掛けた山形ふるさとCM大賞で、12年ぶり2度目のグランプリを獲ることができ、少しでも大石田の魅力発信につながればと思います。

月日が経つのは早いもので、私の任期も残り2年を切りました。より一層気持ちを引き締めて、残りの任期では更なる活躍をお見せできるようにします！

今年度で同じく地域おこし協力隊の久保田舞さんが任期満了で卒業予定で、虹のプラザで行っている公演での姿を観れるのも残りわずかです。

観に来てくださったことのある方、まだ1度も来られたことがない方、ぜひ久保田さんの勇姿を目に焼き付けに来ていただきたい！

そして、来年度からはまた新体制での協力隊の活動、KOEnoKURAや虹のプラザでのイベントも計画中です。お楽しみに！

本年も地域おこし協力隊一同、様々な活動を行っていますので、何卒宜しく願いいたします。



死亡事故ゼロ2,038日目

(1月15日現在)

大石田町の交通事故発生状況 (令和8年1月1日～1月15日)



●発生件数 0件 (±0件)
●負傷者数 0人 (±0人)
●死亡者数 0人 (±0人)
※()は前年比

今月のポイント

こんなところには用心しましょう。

- ①交差点付近 ②橋の上 ③緩い下り坂・カーブ
④日陰になっている所 ⑤トンネルの出入口
⑥ブラックアイスバーン

事故のない一年にしましょう！

毎月1日は「大石田町民交通安全行動の日」

2月の主な行事予定

日	行事予定
2(月)	母子健康手帳交付・健康相談/午後1時30分/役場「相談室」
7(土)	トムソーヤの冒険inスポーツ広場/午前9時30分/スポーツ広場
8(日)	雪みち愛護デー/午前8時/町内一円
10(火)	心配ごと相談/午後1時30分～午後4時/社会福祉協議会 行政相談/午後1時30分～午後3時/虹のプラザ
12(木)	年金相談/午前10時～午後3時/役場「101会議室」 ※新庄年金事務所への事前予約が必要です。☎0233-22-2050
15(日)	モッシュェ盛り上げコンサート/午後2時/虹のプラザ
16(月)	母子健康手帳交付・健康相談/午後1時30分/役場「相談室」

※都合により日程が変わる場合もありますので、事前にお問い合わせください。

＋ 日曜・休日急患の当番医

2月 診療時間：午前8時30分～午後5時

日	当番医院名	電話
1日(日)	おくやま内科医院	(24)0980
8日(日)	中央診療所	(23)2010
11日(水)	清治医院	(23)2125
15日(日)	尾花沢病院	(23)3637
22日(日)	伊藤クリニック	(23)3350
23日(月)	加藤クリニック	(22)9877

家族の健康管理に気をつけて

短歌

縁側の干されたままのブラウスに残るかすかな祖母のおもかげ
あらたまの年を迎えて老いわれは運転免許の更新いどむ
正月のおせち料理を詰めているおかづの位置に気をつけながら
正月がくればきまつておとし玉曾孫二人楽しむ仕草
新年の白き暦をめぐりつつ去年より少し遅き身を知る
新雪に埋もる路傍あらたまの明り灯らぬ祠おろがむ
図書館が書齋代わりの小生に年末年始の休みは困る

海小鈴鈴鈴伊小
藤関木木木藤玉
忠祐隆多智哲春
男子行喜恵夫歌

あなたのニギハキ

俳句

個々人の駒駆けはしり午九行く
万両と寄せて属両有り通し
鴨潜る水輪が水湖の深さかな
初詣またも上がらぬ願ひ石
大晦日娘と撞く鐘の音に祈る
多忙なる通院メモや古暦
カーテンの隙間から見雪の朝
吾子の童話校正ペンに年明くる
飛驒かぐら宇宙を観てる千里眼
初詣打つ柏手力込め

佐山星木伊柏糸青青
藤奥川村藤倉尾木木
一G紀一茂満千ヤミ宙
郎G一郎喜子代子桜サ翁

別冊

おいしいものがたり

～資料館資料編～ ■「大石田町と町並みと」展より

資料館では昭和期の大石田町に焦点をあてた企画展を五期にわたって開催しており、現在はその内第四期「大石田町と町並みと」の最終週を迎えています。今回の展示では大正から昭和期の大石田町の様子を写した古い写真を取り上げていますが、古写真の良いところは当時の風俗を視覚的に知ることができるという点です。

昭和4年撮影の『雪の本町通り』と昭和11年頃の撮影『大石田雪積』は、本町通り付近の冬を写した写真です。通りの両側には、身長何倍もの雪の壁がそそり立ち、雪壁の隙間を人々が歩いています。「流雪溝が導入される以前は積雪を角型に切り出して路肩に積んでいた」と言葉のみで説明されても、その景色や状況はなかなかイメージできないものです。しかしこうして写真で見ると、雪の壁の圧迫感や底冷えする冬の寒さまで感じることができます。この他にも、最上川に浮かぶ「ザイ」や積雪の中行われる初市の様子など、現在は見られなくなった自然現象や町の賑わいといった、往時の大石田を偲ばせる写真もあります。

この展示では最上川沿いの景観も多数紹介していますが、川沿いの家の建築様式や、そもそも最上川に隣接して立ち並ぶ家々は、堤防の築堤以降見られなくなった景色です。しかしそんな川岸の変化の中にあって「大橋」の姿はいつも変わらず、写真の中に大橋を見つけると古い知り合いに逢ったかのようにほっとしてしまいます。永久橋の大橋が完成したことを記念し、昭和6年から花火大会が始まりましたが、まさにその当日、大橋上の人々を撮影した写真があります。画面の明るさから、花火には未だ間のある早い時間から大橋に多くの人々が詰めかけたことがわかります。夏の暑さと共に打ち上げを今か今かと待ちわびる観客の息遣いまで伝わってくるようで、このような雰囲気は現在も変わらないものではないかと思われま

す。以上は今回の展示のほんの一部ではありますが、大石田町のところどころを古写真で振り返ってみると、現在とは全く変わってしまった暮らしぶりもあれば、現在の町並みにもその名残を確かに残しているものがあることがわかります。そんな異同を感じつつ、さらには記憶の中の町並みを思い起こしながら楽しんでいただければ幸いです。



新町発足70周年記念企画展第四期「大石田町と町並みと」は2月1日(日)まで



大石田町公式アカウント開設

LINEははじめました

防災情報や各種行政情報を
受け取ることができます。

友だち登録を
お願いします！

登録方法

右の二次元コードを読み
取って友だちに追加して
ください。



大石田町公式LINE

防災放送の内容を 電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル：0237-48-8444

■総務課総務グループ Tel.35-2111 (内線218)

町の人口 令和8年1月1日現在

世帯数	2,187戸	(-2)
総人口	5,754人	(-4)
男	2,875人	(+1)
女	2,879人	(-5)

(12月中の異動)

出生	1人	転入	14人
死亡	14人	転出	5人

※この人数は外国人も含めたものです。